

# 令和7年度前期水産工学技士養成講習会(水産土木部門) 受講者募集案内

〔(1) 東京会場〕 ※〔(1) 東京会場〕では、会場での講義受講 又は Web 配信講義受講を選択できます。  
なお、いずれも、試験は試験会場にて受験していただきます。

## ① 東京会場 講義受講 (試験会場：東京)

講義日 令和7年5月12日(月)～5月15日(木)

試験日 令和7年5月16日(金) 9:00～11:45

講義・試験会場 国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都渋谷区)

会場講義

## ② Web 配信 講義受講 (試験会場：東京)

Web 講義配信期間 令和7年4月15日(月)～5月15日(木)まで

試験日 令和7年5月16日(金) 9:00～11:45

試験会場 国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都渋谷区)

WEB 講義

〔(2) 札幌会場〕 ※〔(2)札幌会場〕では、リアル会場での講義の開催はありません (Web 配信講義のみの開催となります)。なお、試験は試験会場に会場にて受験していただきます。

## ③ Web 配信 講義受講 (試験会場：札幌)

Web 講義配信期間 令和7年5月27日(火)～6月26日(木)まで

試験日 令和7年6月27日(金) 9:15～12:00

試験会場 かでる2・7 北海道立道民活動センター (札幌市)

WEB 講義

※Web 配信講義 (以下「web 講義」) では、配信期間中 (約1か月間) に各講義の動画 (18科目、講義時間合計1380分(23時間)) を任意の場所で視聴して頂きます。受講決定後に、Web 講義用のアドレスをお知らせします。講義動画視聴に係るインターネット回線使用料等はご負担ください。

### ◇開催にあたって◇

#### 〔開催の趣旨〕

漁港、漁場、漁村の整備は、水産業を取り巻く情勢に的確に対応しながら、主に水産基盤整備事業により、総合的かつ計画的に実施することとされています。

一方、水産基盤整備事業を支える水産土木技術は、水産学と土木工学が融合した学際的な領域に属するため、大学等においても水産土木技術者の養成教育が行なわれておらず、水産土木事業の担い手となる水産土木技術者の育成が必要とされています。特に、水産土木事業の実施においては水産基本法や漁港漁場整備法で規定されている「環境への調和と配慮」を徹底するため、水産生物の生態系や海洋環境についての専門的知識を持つ技術者の育成が強く要請されています。

この養成講習会では、水産基盤整備事業に携わる技術者を主な対象として、業務遂行上必要な環境配慮事項、水産生物環境や海洋土木に関する知識や技術について講習を行い、講習会終了後に実施する試験の結果、日本水産工学会が講習修了 (試験合格) と判定した方を水産生物環境に配慮した水産土木事業の知識と技術を有する者として「水産工学技士 (水産土木部門)」として認定するものです。

#### 〔講習修了者 (試験合格者) の特典〕

水産工学技士 (水産土木部門) の認定登録を行った者は、水産庁及び都道府県等が漁港漁場共通仕様書等で配置することとした「施工環境監理者」の有資格者となれます。また、新規登録者及び更新者には、「水産工学技士資格者証」を交付します。

一方、水産工学技士の活用に資するため、「水産工学技士所属企業等名簿」を毎年刊行し、水産庁、都道府県及び市町村等に配布して水産工学技士の活用依頼を行っています。

なお、この講習会は、(一社) 全国土木施工管理技士会連合会が実施するCPDS認定講習会です。講義受講者には受講証明書を発行します。

一般社団法人 **大日本水産会**  
一般社団法人 **水産土木建設技術センター**  
公益社団法人 **日本水産資源保護協会**

### 〔受講資格〕

受講する資格を有する者は、次のいずれかに該当する者とする。

- 1 水産土木業務の従事期間が、下表の学歴と専攻科目の各欄のそれぞれに該当する年数の者

学歴 \ 専攻科目	①の課程卒業者	②の課程卒業者
大 学	2年以上	4年以上
短大・高専・専門学校	4年以上	6年以上
高 校	6年以上	8年以上

①の課程卒業者：土工学、農業土木、森林土木又は水産学の課程卒業者

②の課程卒業者：①以外の課程卒業者

- 2 技術士法の建設部門、農業部門（選択科目を「農業工学（旧「農村土木」とするもの）、林業部門（選択科目を「森林土木」とするもの）又は水産部門（選択科目を「水産土木」又は「水産資源及び水域環境（旧「漁業及び増養殖」、「水産水域環境）」とするもの）で技術士の登録がなされている者（要コピー添付）
- 3 前記の1及び2に該当しない者は、水産土木業務の従事期間が10年以上の者

（注1） 「水産土木業務」とは、漁港、漁場及び漁港海岸事業の計画、調査、設計、施工管理及び維持管理等の技術的業務のほか、湖沼、河川及び海域における土木事業の技術的業務を含むものとする。

（注2） 「水産土木業務の従事期間」とは、水産土木事業の計画、調査、設計、施工管理及び維持管理等の技術的業務に従事した期間を通算した期間をいう。

### 〔受講の申込〕

受講の申込みは、(1)東京会場(会場講義・Web講義)は3月28日(金)までに、(2)札幌会場(Web講義)は5月9日(金)までに別紙受講申込書に写真〔6ヶ月以内に撮影した、縦3.0cm×横2.5cm、上半身正面無帽のもの、コピー不可〕を貼付したものを申込書送付先に郵送して下さい(FAX・メール不可)。

受講申込書で受講資格を審査します。また、定員に達し次第締切ります。

（申込書送付先） 〒104-0045 東京都中央区築地2-14-5 サイエスタビル3階

（一社）水産土木建設技術センター 水産工学技士養成係

※この募集案内、申込書は（一社）水産土木建設技術センターのホームページ (<https://www.fidec.or.jp/>) よりダウンロード可能です。

### 〔受講者の決定等〕

- 1 受講定員は(1)東京会場(会場講義・Web講義)100名、(2)札幌会場(Web講義)60名程度です。なお、Web配信講義はYouTubeによる配信型の講習を実施します。受講が決定した後、講義配信期間を目処に接続用のアドレスをメール送信いたします。

受講申込の受付は先着順（郵便局消印）となります。定員になり次第締め切ります。

- 2 受講資格審査を通過した者には、申込締切後に受講者決定通知書を発送します。受講者決定通知後は受講者の変更は原則認めません。
- 3 受講者決定通知にてご案内する、指定の銀行口座に受講料等を振り込んで下さい。受講料等の払込を確認後、テキストを送付します。テキストについては、予習のために、会場受講者は講習日の1ヶ月前、Web配信受講者は、配信開始日前を目処に送付します。ただし、会場受講者でテキストの事前受取りを希望しない場合は、講習会初日に講習会場で受取ることができません（申込書に要記載）。

### 〔受講料等〕

受講料等 ¥82,000-（税込）上記受講決定通知を受領後に振り込み下さい。

※(1)東京会場(会場講義・Web講義)、(2)札幌会場(Web講義)ともに同額です。

※振込手数料は受講者負担となります。

- ① 受講料等には、講習料（¥56,000-）、テキスト代（¥13,000-）及び水産工学技士登録資格認定試験料（¥13,000-）が含まれていますが、食事代、宿泊料及び水産工学技士登録料等は含まれておりません。
- ② 受講開始日の1週間前までに受講取消手続きをした場合は、受講料¥56,000-と受験

料¥13,000-を返金(手数料は受講生負担)しますが、それ以外の場合は原則として返金いたしません。

- ③ 以前に受験されて不合格になった方及び登録していて失効された方を対象とした再受験料は¥6,500-です。不得意科目のみの再受講も割引料金で可能とします。再受講及び再受験の申し込みを希望される方は下記照会先にご連絡下さい。

### 〔講義内容、日程等〕

#### 1 講義内容

- |        |  |
|--------|--|
| ① 総論   | 水産土木概論、水産通論、増養殖概論、漁船概論                         |
| ② 基礎   | 漁港・漁場の水理、魚類の生理・生態、<br>漁場形成と環境・資源、藻場・干潟生物の生理・生態 |
| ③ 調査   | 水質・底質環境の調査と保全、生物環境の調査法                         |
| ④ 計画   | 漁港漁場整備計画論、漁場整備計画と事例、藻場造成計画と事例、<br>干潟・浅場造成計画と事例 |
| ⑤ 設計   | 漁港・漁場施設の構造設計                                   |
| ⑥ 施工管理 | 水産土木工事の施工と管理、水産土木工事の施工環境監理                     |
| ⑦ 維持管理 | 水産基盤施設の維持管理と日常点検                               |

#### 2 講習日程

第1日目(月)	9:15~9:45	受付	
	9:45~10:00	開講式、オリエンテーション	
	10:05~12:05	13:05~16:05	講義
第2日目(火)	9:00~12:10	13:10~16:20	講義
第3日目(水)	9:00~11:40	12:40~17:00	講義
第4日目(木)	9:00~12:10	13:10~16:20	講義
	16:20~16:30	閉講式、終了証書交付	
第5日目(金)	9:00~9:15	試験要領等説明	
	9:15~11:45	水産工学技士登録資格認定試験	

※注

講師の都合により、講義時間が若干変更になる場合があります。  
また、最終日の認定試験の座席は、初日の朝発表しますのでご了承下さい。

### 〔水産工学技士の登録〕

水産工学技士登録資格認定試験において一定基準以上の成績を得て日本水産工学会から講習修了の判定を受けた者であって、環境に優しい水産土木技術に関する知見と技術を有すると養成講習実施三団体から認定された者は、水産工学技士(水産土木部門)の登録資格認定者となります。登録は、別途登録料を添えて申請することにより水産工学技士名簿に登録されます。

### 〔水産工学技士の合格発表〕

合格発表は、令和7年8月初旬頃を予定しており、受験者全員に可否の連絡文書を申込書に記載の自宅住所に郵送します(ホームページでは合格者の受験番号を発表します)。

### 〔照会先〕

この募集案内に関するご質問、ご照会は、

(一社)水産土木建設技術センター 水産工学技士養成係へお願いします。

(受付時間10:00~17:00 電話03-6260-6011(直通) FAX 03-3546-6826 Eメールfukyubu@fidec.or.jp)

### 〔食事・宿泊について〕

主催者側から昼食や宿泊先の紹介等はいりませんので受講者各自で対応して下さい。また、服装は自由です。なお、エアコンにより室温調整は行いますが、送風口の位置や個人差等により要望を満たせない場合もありますので、体感温度調整ができる上着等のご持参をお勧めします。

### 〔その他〕

東京会場(会場講義・Web講義)、札幌会場(Web講義)での講習会は(一社)全国土木施工管理技士会連合会が実施するCPDS認定講習会となります。Web講義はCPDSの通常のほぼ半分の

ユニット数となります。ユニットの登録に関しては各団体にお問い合わせ下さい。

また、受講者の所属会社から申し出があれば、人材開発支援助成金申請関係書類に必要な証明も行いますので、(一社)水産土木建設技術センターに申し出て下さい。人材開発支援助成金の詳細は各都道府県の労働局にお問い合わせ下さい。

〔個人情報取扱い〕

講習会の受講申込み時に提出頂いた個人情報は、(一社)水産土木建設技術センター等が実施する水産工学技士養成事業の適切な運用のためにのみ利用いたします。また、本人の同意がある場合及び関係行政機関から要請があった場合を除き、当該情報の第三者(業務委託先を除きます)への情報提供はいたしませんので、支障がある場合には前記の照会先までお知らせ下さい。

〔今後の予定〕令和7年度後期は次のとおり開催を予定しています。

11月に	福岡会場(会場講義、Web講義)	試験会場：福岡
12月に	沖縄会場(Web講義)	試験会場：沖縄

講習会場への交通案内

〔東京会場〕



〔国立オリンピック記念青少年総合センターへの交通案内〕

- 小田急線「参宮橋駅」下車 徒歩約7分
- 東京メトロ千代田線「代々木公園駅」下車 代々木公園方面4番出口 徒歩約10分
- 京王バス 新宿駅西口(16番)より〔宿51〕 渋谷駅行「代々木5丁目」下車
- 京王バス 渋谷駅西口(40番)より〔宿51〕 新宿駅西口行「代々木5丁目」下車

※できるだけ公共交通機関をご利用下さい。自家用車をご利用の方は会場又は周辺の有料駐車場をご利用下さい。(駐車料金の割引はありません)

国立オリンピック記念青少年総合センター  
〒151-0052  
東京都渋谷区代々木神園町3-1  
電話 03-3469-2525

〔札幌試験会場〕



〔かでの2・7 北海道立道民活動センター への交通案内〕

- JR札幌駅南口 徒歩13分
- 札幌市営地下鉄 さっぽろ駅(10番出口)：徒歩9分
- 札幌市営地下鉄 大通駅(2番出口)：徒歩11分

※できるだけ公共交通機関をご利用下さい。自家用車をご利用の方は会場の地下駐車場又は周辺の民間の有料駐車場をご利用ください。(駐車料金の割引はありません)

かでの2・7 北海道立道民活動センター 7階  
710会議室  
〒060-0002  
札幌市中央区北2条西7丁目  
電話 011-204-5100